

2015 年 7 月 8 日

な い し
7月14日は内視鏡の日※¹、今年で 10 回目
「内視鏡検査に関する意識アンケート」結果
～内視鏡検査による病気発見の調査を実施～

オリンパス株式会社(社長:笹 宏行)は、「内視鏡検査に関する意識アンケート」の 2015 年調査結果を、オリンパス運営の健康応援ポータルサイト「おなかの健康ドットコム」で本日公開します。

今年のアンケート回答者(23,534 名)のうち、内視鏡検査※²を受けたことがある人は、上部内視鏡検査で 42.5%(男性 51.5%/女性 34.5%)、大腸内視鏡検査で 21.5%(男性 29.1%/女性 14.8%)でした。

●アンケート結果の特徴

- 1)内視鏡検査を受けたことがある人の 3 割以上に、何らかの病気が見つかる
- 2)内視鏡検査を受けない主な理由は「自覚症状がないから」
- 3)内視鏡検査を受けたことがある人や最近検査を受けた人ほど、「つらくない」と感じる傾向に

アンケート結果の詳細は健康応援ポータルサイト「おなかの健康ドットコム」でご覧いただけます。

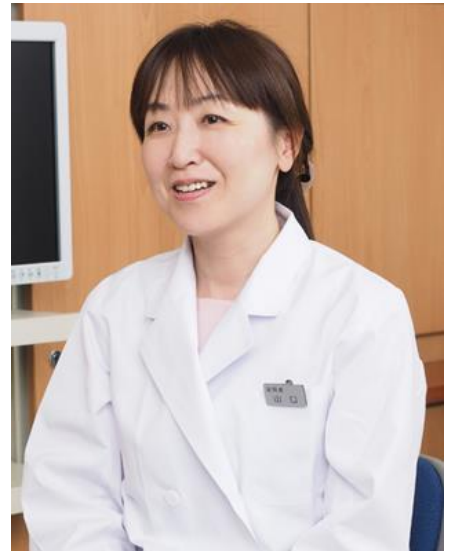
●アンケート結果についてのご講評: 田坂記念クリニック 山口芳美先生(内視鏡専門医)

「内視鏡検査の受診者の中で、3 割以上に何らかの病気が見つかる」

内視鏡検査を受けたことがある人の 3 割以上が、「内視鏡検査で何らかの病気が見つかった」と回答しています。胃・腸内の粘膜表面を直接、詳細に観察できるのは、様々な検査方法の中でも内視鏡検査だけです。内視鏡検査には、微小な病変の発見に優れていることに加え、病変を取り除く処置も同時に行えるという大きなメリットがあります。病気を早期に発見し治療するためにも、内視鏡検査の果たす役割は非常に大きいといえます。

「自覚症状がないうちから、定期的な検査受診を」

前回と同様、内視鏡検査を受診しない理由として、上部内視鏡検査・大腸内視鏡検査のどちらも、「自覚症状がないから」「つらそうだから」を挙げた人が多い結果となりました。上部消化管(食道・胃・十二指腸)でも、大腸でも、早期のがんは一般的に自覚症状がないので、定期的に検診を受けていただき、早期のうちに発見することが非常に大切です。胃がん検診・大腸がん検診の対象年齢である 40 歳以上の人は定期的な受診を心がけましょう。



※1 内視鏡の日とは

内視鏡医学のさらなる発展と普及を願い、(財)内視鏡医学研究振興財団が 7 月 14 日を「内視鏡の日」と制定しました。7 と 14 で「内視(ないし)」と読む語呂合わせから日付が決定され、2006 年 7 月に日本記念日協会より認定を受けています。

※2 内視鏡検査とは

内視鏡検査は、主に健康診断の一種として任意で行う人間ドックや、がん検診の一次検診で陽性反応が出た人に対する精密検査および、痛みなどの自覚症状がある人に対し、その原因をつきとめるための検査として行われます。上部内視鏡検査は、口や鼻から内視鏡を挿入し、食道、胃、十二指腸の検査を行うものです。大腸内視鏡検査は、肛門から内視鏡を挿入し、大腸の検査を行います。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

- 報道関係の方 : オリンパス株式会社 広報・IR 部 丸山
TEL:03-3340-2134(直通) FAX:03-6901-9680
- 報道関係以外の方 : 健康応援ポータルサイト「おなかの健康ドットコム」
<http://www.onaka-kenko.com/>

●アンケート結果の特徴とその詳細

1)内視鏡検査を受けたことがある人の3割以上に、何らかの病気が見つかる

内視鏡検査を受けたことがある人の3割以上が、「内視鏡検査を受けた際に何らかの病気が見つかった」と回答しています(上部内視鏡検査 34.5%／大腸内視鏡検査 36.3%)。

2)内視鏡検査を受けない主な理由は「自覚症状がないから」

内視鏡検査を受けていない理由として、最も多い回答が「自覚症状がないから」(上部内視鏡検査 34.7%／大腸内視鏡検査 34.9%)、次に多い回答が「つらそうだから」(上部内視鏡検査 16.4%／大腸内視鏡検査 14.5%)でした。

3)内視鏡検査を受けたことがある人や最近検査を受けた人ほど、「つらくない」と感じる傾向に

■「内視鏡検査を受けるのは、それほどつらくないと思いますか？」の質問に対する回答率

○受診経験による比較(「検査はつらくない」と回答した人の割合)

	受診経験なし	受診経験あり
上部内視鏡検査	14.0%	37.8%
大腸内視鏡検査	11.9%	38.3%

○受診時期による比較(「検査はつらくない」と回答した人の割合)

	10年以上前に受診	3年以内に受診
上部内視鏡検査	25.2%	44.6%
大腸内視鏡検査	32.1%	41.2%

●本アンケートについて

オリンパスは内視鏡メーカーとして、胃がんや大腸がんの早期発見・早期治療などに役立つ内視鏡検査について、より多くの皆様にご理解いただきたいと思います。そのような願いから、2006年から毎年このような意識調査を行っており、今年で10回目の実施となりました。

●アンケート実施概要

対象： 全国 20 歳以上の男女
方法： インターネット調査
「おなかの健康ドットコム(<http://www.onaka-kenko.com/>)」上の特設ページで実施
期間： 2015 年 3 月 10 日から 4 月 15 日まで
回答者数： 23,534 名(男性:11,042 名、女性:12,492 名)
設問数： 16 問



代表的な内視鏡の例



上部内視鏡検査の様子(イメージ)

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。